

令和4年8月19日

2019年度（令和元年度）埼玉縣市町村民経済計算

～39市町村で市町村内総生産の対前年度増加率がマイナス～

県は、2019年度（令和元年度）埼玉縣市町村民経済計算を取りまとめました。

市町村民経済計算は、市町村における経済活動を生産と分配の二面から推計したもので、市町村経済の規模、経済構造及び経済成長率などから、市町村経済の実態を明らかにする総合的な経済指標です。

1 生産：市町村内総生産（名目）

市町村内総生産の全市町村合計額は、23兆6,428億円で、対前年度増加率は-0.4%となりました。

県内63市町村のうち24市町で対前年度増加率がプラスとなり、39市町村でマイナスとなりました。

減少の主な要因は、製造業及び建設業が減少したためです。

総生産額の上位5市町村は以下のとおりです。上位5市で市町村計の40.7%を占めています。

	総生産額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	市町村計 構成比 (%)
さいたま市	4,873,312	-0.6	20.6
川口市	1,465,169	-0.9	6.2
川越市	1,336,492	3.9	5.7
熊谷市	1,043,618	-0.7	4.4
所沢市	909,533	0.4	3.8
市町村計	23,642,796	-0.4	100.0

対前年度増加率の上位5市町は以下のとおりです。

	総生産額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	製造業 増加率 (%)
鳩山町	35,078	16.3	18.5
吉川市	170,150	4.7	11.0
川越市	1,336,492	3.9	21.9
嵐山町	86,712	3.6	4.1
上里町	102,727	2.8	5.0
市町村計	23,642,796	-0.4	-1.2

2 分配：市町村民所得

市町村民所得の総額は、22兆3,059億円で、対前年度増加率は-1.3%となりました。
県内63市町村のうち、3市町で対前年度増加率がプラスとなり、60市町村でマイナスとなりました。

減少の主な要因は、企業所得が減少したためです。

上位5市町村は以下のとおりです。上位5市で市町村計の43.8%を占めています。

	所得額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	市町村計 構成比 (%)
さいたま市	4,820,464	-0.6	21.6
川口市	1,838,244	-0.1	8.2
川越市	1,065,863	-1.5	4.8
所沢市	1,050,888	-1.3	4.7
越谷市	995,131	-0.9	4.5
市町村計	22,305,884	-1.3	100.0

対前年度増加率の上位5市町は以下のとおりです。

	所得額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)
三芳町	133,061	1.1
八潮市	292,531	0.3
宮代町	80,076	0.2
川口市	1,838,244	-0.1
三郷市	419,307	-0.1
市町村計	22,305,884	-1.3

一人当たり市町村民所得の上位5市町は以下のとおりです。

	所得額 (千円)	対前年度 増加率 (%)
和光市	3,802	-4.3
さいたま市	3,679	-1.6
戸田市	3,559	-1.7
三芳町	3,460	1.8
朝霞市	3,410	-1.2
県全体	3,035	-1.6

詳しくは、統計課のホームページを御覧ください。
統計課『彩の国統計情報館』市町村民経済計算のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/shichosonmin.html>